



平成23年10月24日

各位

上場会社名
代表者
(コード番号
問合せ先責任者
(TEL

株式会社 幸楽苑
代表取締役社長 新井田 傳
7554)
専務取締役管理本部長 武田 典久
024-943-3351)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,679	386	402	94	5.78
今回修正予想(B)	17,107	979	1,024	469	28.89
増減額(B-A)	427	592	622	375	
増減率(%)	2.5	153.2	154.9	398.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	17,732	1,162	1,195	379	23.36

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,709	1,480	1,500	489	30.11
今回修正予想(B)	35,137	2,012	2,063	703	43.31
増減額(B-A)	427	532	562	214	
増減率(%)	1.2	35.9	37.4	43.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	33,932	1,959	2,025	662	40.72

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,654	351	383	83	5.13
今回修正予想(B)	17,076	925	995	456	28.08
増減額(B-A)	421	574	612	373	
増減率(%)	2.5	163.5	159.8	446.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	17,705	1,111	1,176	372	22.91

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,661	1,412	1,450	453	27.89
今回修正予想(B)	35,083	1,926	2,002	665	40.94
増減額(B-A)	421	514	552	211	
増減率(%)	1.2	36.4	38.0	46.6	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	33,881	1,872	1,972	623	38.35

修正の理由

【第2四半期累計期間】

売上高につきましては、当初計画において東日本大震災の影響による経営環境の悪化や電力供給不足による店舗営業時間の短縮等を見込んでおりましたが、店舗営業に支障をきたす計画停電等がなかったことからマイナス影響は想定を下回る結果となりました。また、継続的な店舗QSCレベル向上対策と季節のニーズに対応したタイムリーな新メニュー導入等の商品戦略の強化により、既存店売上高が当初計画を達成することができました。さらに、新規出店につきましても18店舗の計画に対して22店舗の実績となったことから、前回発表予想の売上高を上回る見通しとなりました。

利益面につきましては、小麦粉等の原材料価格高騰が想定内におさまったことに加え、メニュー構成の見直しにより計画に対して原価率が低減されております。また、店長教育の成果として就労時数等のコストコントロールが徹底されたこと等により、販管費率についても計画を下回る見通しです。

この結果、前回発表の第2四半期累計期間業績予想に対して、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに上回る見通しにあり、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

【通 期】

当社グループが属する外食産業におきましては、景気低迷による節約志向から外食機会が減少する一方、放射能汚染問題・食中毒事件の発生から「食の安全・安心」に対する消費者意識の高まりが見られる等、今後とも厳しい経営環境が続くことが見込まれ、売上高の下振れリスクが潜在するものと想定されます。当社グループはこうした状況を踏まえて、顧客満足度を高めるための店舗QSC対策と商品戦略強化に継続的に取り組むとともに、1,000店舗体制実現と業界シェア拡大に向けた新規出店を積極的に推し進めることで、第3四半期以降におきましても当初計画を必達させることを当面の目標としてまいります。

なお、第3四半期以降におきましては、売上高は当初計画通りとしておりますが、店舗修繕費等の経費増加を見込んでおります。

第2四半期累計期間及び第3四半期以降の見通しから、前回発表の通期業績予想に対して、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに上回る見通しにあり、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上